

全国駅弁博覧会

～お弁当当箱全国版～

第66号:2018年8月

★「おにぎり文庫LINE」★NPO法人「おにぎり文庫の種」パンフ★オリジナルシール

など、過去の「全国駅弁博覧会」でご紹介しているいろいろなものがございます。「それなに？」とおもわれたら、上記大野メールアドレスまでお気軽にお問い合わせください。

「おにぎり文庫」全国事務局改め

NPO法人「おにぎり文庫の種」

〒108-0074 東京都港区高輪 4-10-18

京急第1ビル14F 公文教育研究会東京本部内

大野 直子 ono.na@kumon.co.jp

「ねぎぼうずのあさたろう劇団&忍者読み聞かせ隊」公演

@上野の森親子フェスタ

2018年5月5日(土)におこないました!

上野の森の緑に青空の映える5月5日(土)、上野の森親子フェスタAテントにて、ねぎぼうずのあさたろう劇団公演を行いました。今年も全国から忍者のみなさんも参加、ねぎぼうずのあさたろう劇団と合わせて、にぎやかに上野公演を行いました。

テントの中は子どもたちや、絵本を楽しまれる大人の皆さんの熱気があふれます。皆さんの「待ってました!」の元気な掛け声が飛びかいます。海外からの観光客の方は、忍者や旅装束に、シャッターを切られる方も多数。絵本を読んでいる私たちにとっても、GW中の楽しいひと時になりました!



普通の日々

朝、目が覚めると明るくて、朝ごはんを食べたり、ちょっと面倒だなあと思いながら洗濯したり掃除したりしていると、外で「行ってきまあす!」という子どもの声がして、ランドセルをはずませながら走っていく後姿が見える。お水を上げようとしたら、朝顔が新しいつぼみをつけていて、明日何色の花が咲くかな、と思う。

当たり前前の日常の大切さは、当たり前が崩れると感じます。

災害、事故、事件、病気…良くないことに会われたと聞いたとき、心配で様子を伺いたいと思っても、日頃から連絡を取り合っている親しい間柄でないと連絡を取るのには控えます。説明をしている間に、もっとしたいことがあるでしょう。多くの場合、“ありがとうございます、でも大丈夫です”とおっしゃるでしょう。“もっと大変な方がいらっしゃるので、そちらを助けてあげてください”とも。

大きな災害があった時、テレビや新聞の報道は、被害の大きなところの様子しかわからず、“何とかなっているようだけれどストレスがある”といったことはなかなか伝わってきません。

こんなに毎日暑くて、お身体は大丈夫ですか?好きなものが食べられなくてお腹は足りていてもひもじくないですか?先のことが不安になって夜眠れないことはありませんか?大切にしていたものが無くなって穴が空いたような気がしませんか?一人きりになってしまった様な気がして寂しくないですか?思い切り歌を歌いたくありませんか?いつものお気に入りの入浴剤につかってお風呂に入れなくて疲れが取れないと感じませんか?自分の布団の匂いが懐かしくないですか?一人になりたいと思ってもなれなくて疲れていませんか?

静かで穏やかに豊かな孤独に浸るために、大好きな本を読みたくないですか?

読みたい本が手に入らないなら、言ってください。「おにぎり文庫の種」が必ずお送りします。

(つちやあさたろう)